

A. 日 時 2015年2月20日 金曜日 17時30分～19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査、他9名

D. 提出資料（提出委員名も記入して下さい）

No. 09-01：第08回環境振動性能評価小委員会 議事録（案）

No. 09-02：小委員会活動報告

No. 09-03：IS06897（回覧）

No. 09-04：水平振動に対する人間の感覚特性に関する研究

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料 09-01「第08回環境振動性能評価小委員会 議事録（案）」について報告

※ 前回委員会議事録内容の確認

→ 1 ページ 12 行訂正：×自身、○地震

→ 上記訂正の後、承認された

2. 運営委員会活動報告

A) 運営委員会報告

→ 2015年度からの環境振動運営委員会主査、幹事について報告があった

→ 来年度の環境振動シンポジウムは2016年2月5日（金）に開催予定

3. 議論

A) 資料 09-03「IS06897」について松本主査より報告

※ 5年定期見直しを実施中。投票期限は6月15日。

※ 内容に関する意見を次回小委員会で確認する

→ 0.1Hz以下の低振動数の測定手法は規定しないのか？対応するセンサーはあるのか？

→ 他の団体から改定の意見等が寄せられる可能性もあるので今後とも留意

B) 資料 09-04「水平振動に対する人間の感覚特性に関する研究」について報告

※ 水平振動に対する人間の感覚特性に関する諸研究について

→ 2000年以降の研究210件、および建築物の振動に関する居住性能評価指針第1版・第2版、居

住性能に関する環境振動評価の現状と基準、以上三冊に図表が載っている 39 文献を追加、そのうち主に水平振動を対象とした研究をピックアップ

→ 水平振動の人間の感覚評価に関し、知覚閾・心理量（限界評価・大きさ感・不快感等々）・行動障害作業性・性能評価等に研究を分類し、石川研究室提案の知覚割合のグラフをキャンバスに各研究の結果をプロット

→ 特に体感知覚に関し、姿勢や振動方向・波形特性ごとに研究を分類し、同系の研究を散布図に示し、回帰を行った

→ 回帰を行う際に被験者人数や条件数により各研究の重み付けを行う必要があるのでは？との指摘があった

#### c) 今後の環境振動評価について議論

→ 他国の指針の場合のランク分けは、知覚・歩行や作業性の障害といったような非常に幅の大きな対象となっているので、知覚のみの非常に狭い範囲内のみで評価を行うことにこだわることも無いのでは？

→ 実験室環境における評価のみで居住性能を判断するのではなく、実際に住んでいる人の評価であることが理想

### 3. 次回以降の課題

※ 「居住性能評価指針」と「設計指針」の位置づけについて

※ 評価指針への提言

※ 環境振動に関するホットな話題を随時募集

※ 評価 WG での活動内容の報告

※ 水平振動と鉛直振動を分けて考えているが？（交通振動に着目すると、水平と鉛直の両研究があるので関連付けることは可能か？）

次回の当委員会は、2015 年 5 月 18 日（月曜日）15 時 30 分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ準備（14 部）されるか、もしくは 2 日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。